



市川レポート

2025年FOMCメンバーの金融政策スタンス

- 金融政策を議論し決定するFOMCでは、7名の理事と5名の地区連銀総裁が投票権を保有する。
- 2025年に投票権を持つ理事と地区連銀総裁の計12名のうちハト派4名、タカ派3名、中立5名。
- ドットチャートは19名の予想、中立10名のうちタカ派寄り6名の予想が次回のドットに大きく影響か。

金融政策を議論し決定するFOMCでは、7名の理事と5名の地区連銀総裁が投票権を保有する

米国の連邦準備制度（The Federal Reserve System）は、1913年の連邦準備法によって設立された中央銀行制度です。その最高意思決定機関が、ワシントンにある連邦準備制度理事会（The Board of Governors of the Federal Reserve System）で、一般的にFRB（The Federal Reserve Board）という略称で呼ばれています。FRBは連邦政府の1機関であり、7名の理事（うち議長1名、副議長1名、金融監督担当副議長1名）で構成されています。

FRBは、その下に12の地区連邦準備銀行（地区連銀）を抱え、業務に関する広範な監督権限を付与されています。なお、金融政策の決定に関する議論は、連邦公開市場委員会（FOMC）で行われ、7名の理事と5名の地区連銀総裁が投票権を持ちます。理事とニューヨーク地区連銀総裁は、常に投票権を持つ常任メンバーですが、4名の地区連銀総裁は、輪番制により1年の任期となります。

【図表1：FOMCメンバーの金融政策スタンス】

区分	メンバー	役職	ハト派	中立	タカ派
常任メンバー	パウエル	議長			
	ジェファーソン	副議長			
	バー	理事(金融監督担当副議長)			
	ボウマン	理事			
	ウォラー	理事			
	クック	理事			
	クグラー	理事			
	ウィリアムズ	ニューヨーク地区連銀総裁			
メンバー	グールズビー	シカゴ地区連銀総裁			
	コリンズ	ボストン地区連銀総裁			
	ムサレム	セントルイス地区連銀総裁			
	シュミット	カンザスシティ地区連銀総裁			

(注) 2025年のFOMCで投票権を持つメンバー。スタンスの区分は三井住友DSアセットマネジメントによる。

(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：その他FOMCメンバーの金融政策スタンス】

区分	メンバー	役職	ハト派	中立	タカ派
代替メンバー	ハマック	クリーブランド地区連銀総裁			
	ハーカー	フィラデルフィア地区連銀総裁			
	ローガン	ダラス地区連銀総裁			
	カシュカリ	ミネアポリス地区連銀総裁			
その他メンバー	バーキン	リッチモンド地区連銀総裁			
	ボステック	アトランタ地区連銀総裁			
	デイリー	サンフランシスコ地区連銀総裁			

(注) 2025年のFOMCで投票権を持たないメンバー。代替メンバーは投票権を持つメンバーがFOMCに出席できない際に投票を行う。ニューヨーク地区連銀総裁の代替のみニューヨーク地区連銀第1副総裁。スタンスの区分は三井住友DSアセットマネジメントによる。

(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成



2025年に投票権を持つ理事と地区連銀総裁の計12名のうちハト派4名、タカ派3名、中立5名

つまり、投票権を持つ5名の地区連銀総裁のうち、ニューヨーク地区連銀総裁を除いて、4名が毎年入れ替わることになります。次期トランプ政権1年目となる2025年は、シカゴ、ボストン、セントルイス、カンザスシティーの各地区連銀総裁が新たに投票権を持つメンバーとなります。なお、2025年のFOMCで投票権を持つメンバーの金融政策スタンスについて、ハト派（景気重視）、中立、タカ派（物価重視）の3つに区分したものが図表1です。

弊社は7名の理事のうち、ジェファーソン副議長、クック理事、クグラー理事の3名はハト派、ボウマン理事はタカ派、パウエル議長など残り3名は中立とみています。また、5名の地区連銀総裁では、シカゴ地区連銀のグールズビー総裁がハト派、セントルイス地区連銀のムサレム総裁とカンザスシティー地区連銀のシュミット総裁がタカ派、ニューヨーク地区連銀のウィリアムズ総裁とボストン地区連銀のコリンズ総裁が中立と考えます。

ドットチャートは19名の予想、中立10名のうちタカ派寄り6名の予想が次回のドットに大きく影響か

2024年に投票権を持つメンバーは、ハト派が3名、タカ派が2名、中立が7名とみていますので、2025年は中立が2名減り、ハト派とタカ派が1名ずつ増えることとなりますが、引き続きバランスの取れた陣容と判断されます。なお、金融政策は投票権を持つメンバー12名の投票で決まりますが、FOMCメンバーが適切と考える「政策金利水準の分布図（ドットチャート）」は19名全員（理事7名と地区連銀総裁12名）によるものです。

参考までに、他の地区連銀総裁のスタンスは図表2の通りで、19名ではハト派4名、タカ派5名、中立10名となります。弊社は中立10名のうち、パウエル議長、バー金融監督担当副議長、ニューヨーク地区連銀ウィリアムズ総裁、サンフランシスコ地区連銀デイリー総裁の4名はハト派寄り、6名はタカ派寄りとみており、後者の予想は次回ドットチャート（12月18日発表）中央値の上方修正に大きく影響する可能性が高いと思われます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会